



撮影場所◎尚美堂(山形市)

奏であう人

vol.79

時代と共に歩む山形の工芸品

山形の工芸品の販売や魅力を伝える取組みを行う逸見良昭さんと、笹野一刀彫りの工人である小山泰弘さん、山形系こけしの工人である志田楓さんに、山形の工芸品の可能性についてお聞きしました。

こ やま やす ひろ
小山 泰弘さん
(米沢市)

1983年生まれ。米沢市出身、同市在住。30歳を契機に、地元に関わる仕事をしたいと考えていたところ、地元の笹野一刀彫の後継者がいないことを耳にし、幼馴染3人で名工・高橋清雄さんに師事。現在、3人は工人のグループ「笹野一刀彫おたか三兄弟」として活動している。

へん み よし あき
逸見 良昭さん
(山形市)

1961年生まれ。山形市出身、同市在住。土産品を扱う(株)尚美堂代表取締役社長。工芸品の工人との対話を重ねながら、オリジナル商品をプロデュースし、時代に合わせた新たな商品を提案している。職人が高齢化する、花笠づくりの承継にも取り組む。

し だ かえで
志田 楓さん
(西川町)

1996年生まれ。西川町出身、同町在住。家業の菊摩呂こけしを絶やしたくないとの思いから、家業を継ぐ決意をする。高校卒業後、デザインや木地挽きを学び、現在は菊摩呂こけし工房の工人として、伝統のこけしやユニークな創作こけしを多数生み出している。

山形の工芸品が秘めた可能性

今年で創業から88年を迎える土産品店・尚美堂の三代目として、長年山形の工芸品を扱ってきた逸見さんは、消費者のニーズの変化を肌で感じ取ってきました。

そのため、逸見さんは、2015年に山形駅ビルの土産品店を改装するにあたり、新たなコンセプトの店舗にしようと考え、県内各地の工芸品の工人たちの元を訪ねたと言います。

「各地で受け継がれている工芸品は、それまで知らなかったことを悔やむほど、素晴らしいものばかりでした。だからこそ、工芸品に何か新しい要素を加えることで、より多くのお客様に手に取ってもらい、作り手と買い手の橋渡しをしたいと考えたのです」。

尚美堂エスパル山形店は、山形の伝統的な工芸品の今を伝える、セレクトショップとして生まれ変わりました。逸見さんは、工人たちと一緒に商品開発を重ね、従来にない鮮やかな色彩の「お鷹ぼっぼ」

やユニークな「創作こけし」などを次々と打ち出し、県内外から注目されるようになりました。逸見さんが話します。

「以前の売れ筋の土産品といえば、地名入りの有名キャラクターのキーホルダーなどでしたが、今は、山形にしかないもの、山形ならではのいいものが求められています。それに見合う価値を、山形の工芸品は秘めています」。



山形の風土に育まれてきた工芸品に新しい要素を加えた商品なども取り扱う、尚美堂エスパル山形店。実演販売など、作り手と買い手をつなぐイベントも開催している。

脈々と受け継がれた伝統を絶やしたくない

一方、笹野一刀彫の小山さんと、菊摩呂こけし工房の志田さんは、地域に根付いた工芸品を絶やしたくないとの思いから、工人の道に進みました。小山さんが当時を振

り返り、話します。

「私たち『おたか三兄弟』のメンバーは、米沢市笹野地区出身の幼なじみで、笹野一刀彫が家業だったわけではありません。三人とも高校卒業後に関東で就職したものの、いつか米沢に戻り、地元に関わる仕事をしたくないの思いを募らせていました。

そんな時に、地元で1200年も続く笹野一刀彫の後継者がいないことを知ったのです。それまでは工芸品には興味なかったのですが、伝統を絶やすのはもったいない、我々が受け継いでいかなければと思ひ、三人で師匠の元を訪れ、弟子入りを志願しました」。



お鷹ぼっぼの昔の型を再現した「古代ぼっぼ」(右上)、コシアブラの木で作った丸い削り花と槐(えんじゅ)の木で作った鷹を組み合わせた「槐花鳥」(右下)、長寿のお守りの「亀」(左下)など、小山さんの作品は多岐に渡る。

志田さんがうなずき、言葉をつなぎます。



工人になる決意をした志田さんは、父であり2代目の菊宏さんに師事し、2020年に工人としてデビュー。親子でこけしの制作に取り組んでいる。

「私の場合、家業が菊摩呂こけし工房でしたが、私も当初から興味があったわけではありませんでした。高校生になり、進路を考える時期に、家業の後継者がおらず、私が継がなければ途絶えてしまうことを強く意識しました。

その頃から、展示即売会などがあれば父に同行し、こけしがどんなものかを知り、少しずつ興味を持ちました。家業を稼げる仕事とは考えていなかった父は、私が継ぐことに賛成も反対もありませんでしたが、私が継ぐと決めました」。

今や、引く手数多の若手工人として活躍する二人は、製作の実演やSNSでのPRも積極的にを行い、国内だけでなく海外からの視察や注文があるそうです。

